

現代演劇プロデュースV

ミュージカル

Historia de Don Quixote

夢果てるとも

恋に生き、夢に生き、希望に生きる!
ただひたすら命を燃やし続けた男がいる!
その名は…

ドン・キホーテ

絶望から目を背けてはならぬ
しっかりと見据えるのだと
すれば、その先に
新しい希望が見えてくる
たとえ夢果てるとも



1幕11場 上演時間90分

原作：ミゲル・デ・セルバンテス

演出・脚本・振付：三浦克也

音楽：大澤紀彰

Produced by

笑う猫
Laughing Cats

私は信じる…たとえ 恐れることなく歩み

不運と波乱の作家 セルバンテス

人生を考えるたくさんの芝居、その中にあって、生きて、生きて、生き抜く人間の物語。これほどまでに観る者の心を揺り動かし、希望を与えてくれる"戯曲としてこれ以

正真正銘の名作文学 ー史上最高の文学百選1位ー<「ドン・キホーテ・デ・ラ・マンチャ」

1605年に出版された前篇と、1615年に出版された後編がある。批判精神に富んだ作品であると同時に、メタフィクション（多重構造）が多用されていることが特徴である。風車に突進する有名なシーンは、スペイン騎士ドン・キホーテがオランダを象徴する風車に負けるという、オランダ独立の将来を暗示する説もある。主人公の自意識や人間的な成長の「個」の

視点が導入されていることから、近代小説の先駆けともいわれる。夢や希望、正義を胸に旅を続ける姿が多く人の感動をよび、聖書の次に世界的に出版された、ベストセラー、ロングセラー小説である。2002年にノーベル研究所と愛書家団体が発表した、世界54か国の著名な文学者100人の投票による「史上最高の文学百選」で1位を獲得している。

ミゲル・デ・セルバンテス(1547年～1616年)



貧しい下級貴族の生まれであり、幼少時より大の読書家であった。祖国の栄光のために青春をささげ、何ひとつ報われることなく、深い失望と幻滅を味わい、その後二度にわたる投獄生活の中で構想し、1605年小説「ドン・キホーテ」を書き上げ、大評判

となり一躍人気小説家となる。58歳から69歳まで作家活動を続け、スペイン語圏における世界的な文学者であり、後世に多大な影響を与えた文化人のひとりである。

不運と波乱に満ちた生涯の幕を閉じた1616年4月23日は、奇しくも大劇作家シェークスピアがこの世を去った日でもある。

STORY

所は、スペイン・アンダルシア地方。夢を追うことに疲れた人々が集う場末の宿屋。そこへ、ミゲールがサンザと共にやってくる。彼は、かつて国王のお気に入りの役者でありながら、今はお尋ね者。理想と現実を謳い文句に、人生の中における真実を問うことで追われる身となった彼を、宿屋の連中は馬鹿にし笑いものにする。

『芝居なんてのはただの絵空事。絵空事に真実などありはしない』

『金こそがこの世の真実』『金こそが人生』だと笑い飛ばす宿屋の人々。そんな連中を相手に、ミゲールはある男の物語を演じはじめる。騎士物語を読みすぎて現実と妄想の区別がつかなくなった田舎騎士"アロンソ・キハーノ"。キハーノは、自らを「ドン・キホーテ」と名乗り、従者「サンチョ・パンサ」を引き連れ、遍歴の騎士への旅へ出る。一方、カラスコは、気の触れたキハーノを連れ戻そうと荒治療を試みるが…。

たちまち芝居の舞台と化した宿屋で、ミゲールが演じる舞台の中に、果たして真実はあるのか?



この身が滅びようとも 続けん、輝く明日を信じて

不朽の名作

真摯なるその姿が、
上の深みをもった作品はないだろう。



STAFF

脚本・演出・振付：三浦克也
音 楽：大澤紀彰
振 付：宮下美和
歌 唱 指 導：中谷真希枝
美 術：三浦克也
照 明：茂木和子
音 韻：横尾和男

企 制 作：株式会社 笑う猫

ミュージカル「夢果てるとも」

1幕11場 上演時間90分(休憩なし)

原作：ミゲル・デ・セルバンテス

脚本・演出・振付：三浦 克也／音楽：大澤 紀彰

出演：シアタージャパン

CAST(登場人物)

●本編

ミゲール(国王お気に入りの役者)

アロンソ・キハーノ(ドン・キホーテと名乗り、理想の騎士を目指す夢想者)

サンザ(ミゲールを崇拝する従者)

サンチョ・パンサ(キハーノの信奉者)

カルデニオ(落ちぶれた元貴族)

カラスコ(アントニアの婚約者で現実主義者)

ジョアン(宿屋の踊り子)

アルドンサ(ドン・キホーテが恋する姫)

親方(馬方の元締め)

騎士・執事アーマンド・魔王ルシフェル

ビアンカ(宿屋の新人踊り子)

アントニア(キハーノの姪・カラスコの婚約者)

女主人(安宿を一人で切り盛りする女将)

家政婦トローザ(キハーノ家の家政婦でアントニアの味方)

元神父(酒で身を持ち崩した神父)

キハーノ家と親交の深い神父

MUSICAL NUMBER(ミュージカルナンバー)

M1『OVERTURE～SPANISH DANCE』

M14『アルドンサ』

M2『娼婦の館』

M15『心のドルシネア』

M3『月明かり』

M16『アルドンサII』

M4『前奏曲/ドン・キホーテ』

M17『おかしな大喧嘩』

M5『ドン・キホーテのテーマ』

M18『月明かりII』

M6『風車の戦い』

M19『心のドルシネア』(REP)

M7『サンチョの歌』

M20『大魔王ルシフェル』

M8『騎士の称号』

M21『鏡の騎士』

M9『マンブリーノの黄金の兜』

M22『ドン・キホーテBGM』

M10『ドン・キホーテのテーマ』(REP)

M23『転換BGM』

M11『キハーノ家』

M24『ドン・キホーテBGM』

M12『カラスコ』

M25『夢がある限り』

M13『大魔王ルシフェル/SHORT』

M26『ドン・キホーテのテーマ』



夢果てるとも～笑って歌って涙がほろり、明日を生きる若者達へ～

セルバンテスの名作「ドン・キホーテ」の物語は私にとって、初めて舞台公演の世界に飛び込んだ際、ドン・キホーテ自身を演じさせて頂き、また私の師匠でもあります故坂上道之助先生が東宝ミュージカル「ラ・マンチャの男」の振付を担った経緯もあり、実に愛着深き作品です。メタフィクション=劇中劇と言う二重構造を実現させた功績も大きく、「ドン・キホーテ」以降、多くのメタフィクション構造の作品が生まれています。

欧米ではシェークスピア同様、今尚人気の高い「ドン・キホーテ」ですが「人間がどう生きるべきか」「夢を持つ意義とは」と、人生に立ち向かう若者達に問いかけ、たとえ夢が破れても「何度も立ち上がる勇気」を今に伝える作品だからこそでしょう。観劇後生徒のみなさんが「ドン・キホーテ」の生き方についてディスカッションして頂けたら感激です。

作・演出・振付：三浦克也

シアタージャパンによるミュージカルワークショップ

ミュージカル制作に必要な技術や考え方を実践指導いたします。講師は各地の公共ホールで市民ミュージカル等を指導している経験豊富なスタッフや俳優たちです。

各種プランがございますので、お気軽にご相談ください。



Theater
Japan

●シアタージャパン

2000年1月に演出家三浦克也と俳優故夏夕介を中心に発足。同年3月東京芸術劇場「Blue Plate Special～カルテの裏側」にて旗揚げ。医療現場の現実と理想を描き、演劇専門誌「月刊ミュージカル」に掲載され新進ミュージカル劇団としてスタート。以降、いじめ問題を取り上げた「Hand in Hand～心と心の回想録」、吟遊詩人が奏でた恋物語をミュージカル化した「中世歌物語オーケッサンとニコレット」、大正時代、流れ星の如く生き抜いた実在の女優高木徳子を描いた「Salome」等を次々と発表。

また「生の感動を」を届けたいと幼稚園、保育園、養護学校、厚生病院等への慰問公演にも積極的に取り組み、更に演劇の裾野を広げようと市民団体の脚本演出振付等にも多数参加しています。

心搖さぶる"本物"を!

笑う猫はジャンルを超えて、優れた舞台芸術作品をみなさまにお届けいたします。

メディアや舞台芸術全般の経験と実績を有し、あらゆるニーズに対応できる個性豊かなクリエイティブカンパニーとして、1987年株式会社笑う猫は設立されました。“ちょっと気になるこの名前”をキャッチフレーズに、メディア事業や舞台芸術を中心とした文化事業を幅広く展開しております。また、各種教育機関の芸術鑑賞会をはじめ、自治体や公立文化施設の自主事業、各種フェスティバル・博覧会・イベントの企画運営、オリジナル企画(市民参加型演劇・音楽・伝統芸能など)の企画・制作・コーディネイト業務を行い、様々なシーンに合わせた優れた舞台芸術作品を皆様にお届け致しております。



大型人形劇
「三國志」



ヒダノ修一
「太鼓マスターズ」



和泉元彌
「狂言らいふ」



アフリカの音楽
「魂の鼓動」



アンデスの音楽
「大地の讃歌」

お問合せ
お申込み

(株)笑う猫
文化事業局

TEL 0422-56-2329 FAX 0422-56-2379

〒180-0012 東京都武蔵野市緑町2-1-5 <http://www.warauneko.com> E-mail : mail@warauneko.com